

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和4年7月22日（金）
9時00分～10時28分
全 員 協 議 会 室

- 【出席者】三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員
- 【事務局】小寺書記

議題

1 はまだ議会だよりVol. 66の編集について…………… 資料1

(1) 校正作業

ページ	担当委員	記事
1-5	沖田委員 川神委員	表紙、6月定例会議ポイント、トピックス、 議案の賛否、個人一般質問（7名）
6-9	大谷委員 村木委員	個人一般質問（14名）、まるよみ
10-12	川上委員 肥後委員	市民対談、委員会活動レポート（総務、福祉）
13-16	小川委員 上野委員	委員会活動レポート、読者アンケート 今号の読者アンケート、告知、あとがきほか

(2) その他

2 第2回はまだ市民一日議会について…………… 資料2

- (1) チラシ及びルール確認
(2) その他

3 議会報告会について

- (1) 各委員の意見確認
(2) その他

4 その他

- (1) 勉強会テーマの募集

【次回委員会開催予定日】令和4年8月25日（木）午後1時30分 全員協議会室

【議事の経過】

[9時 00分 開議]

三浦委員長 | 議会広報広聴委員会を始めたい。出席委員は9名、川神委員は遅れて入られる。定足数に達しているので議題に沿って進める。本日の議題はその他含めて四つである。

1. はまだ議会だよりVol. 66の編集について

(1) 校正作業

三浦委員長 | 校正作業を行いたい。その前に初稿について小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | 事前の配信のとおり校正作業が割り当てられているので、順次進める。

《 以下、校正作業 》

(2) その他

三浦委員長 | 議会だよりについて、皆からその他あるか。

(「なし」という声あり)

2 第2回はまだ市民一日議会について

(1) チラシ及びルール確認

三浦委員長 | 今配信されたチラシと、それにも記載されているルール等について議論したい。小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | チラシの基本的なデザインは前回のものを踏襲して第2回と書いているのと、案内文を第2回に書きかえている。皆から何か要望や意見があるか。なければこの形でチラシを印刷し、挟み込むことにしたい。

次にルールについて。小寺書記からも説明があったが、昨年もおられた委員は昨年のことを想像しながら意見を述べてほしい。今回が初めての委員は率直な感想や疑問があれば言ってほしい。

小寺書記 | 今配信した資料が、昨年のはまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）が終わってから数日後の委員会において配付した、発言

者・傍聴者・参加した議員からいただいたアンケートに記載のあった内容・課題等をまとめた資料である。発言時間は5分でちょうどよかったとか、配付資料は1、2枚程度におさめたほうがよいといった意見があった。

三浦委員長

こうしたものも参考にしつつ、皆の意見をいただきたい。ルールは基本的には、人数制限を設けるとか抽選するとかいったところは基本に従って進める。あとは発言者への対応といったところは議員の中でももう少し共通認識を持とうという指摘があったので、それは全員協議会や今後の説明の中でしっかり共有を図っていきたい。よって具体的なルール変更には至らないと思うが、資料の配付についてどうするか。発言要旨は出していただいてこちらで配付するが、もし関連資料として配りたいものがあれば発言者に提供いただくといった形も取れるのではと思う。冊子などになる場合はこちらで取り寄せが必要になる可能性もあるので、何か配りたいという要望が発言者からあれば、それは自身でご準備をお願いしてよいのではと思っている。皆の意見を伺いたい。皆うなずいておられるので、異論なしということによいか。

小寺書記

議員への配付資料はタブレットに入れるので全く問題ないのだが、傍聴者やほかの参加者には紙ベースで資料を用意するし、報道の方にも資料を用意した。そのための必要部数となると、傍聴者が約40人で40部用意するようお願いするのもどうなのか。

三浦委員長

発言者の方が関連資料として配付を望まれる場合、ご自身で用意いただく。昨年を例にすれば、傍聴者が40名いらっしゃればその分はご用意いただく。こちらで印刷等はしないということで。議員には電子媒体で配付できるものはそれで対応すればよいし、紙しかない場合は議員分もご用意いただく、ということによいのではと思うが、どうか。そういう理解によいか。

小寺書記

はい。

三浦委員長

よって配付を希望される関連資料がある場合、発言者ご自身で必要部数をご用意いただくとルール内に明記することで対応したいと思う。ほかにあるか。大谷委員、村木委員、肥後委員は今回が初めてになるが、疑問点などはないか。想像できない部分もあるかもしれないが、気づいた点があれば。

(「なし」という声あり)

では先ほどの配付資料に関してはルールを書きかえを行う。日時等は適宜変更する。申し込み締め切りはチラシに書いてあった9月14日でよいか。

小寺書記

発言への対応は、これは前回と同じように全員協議会で取り扱うということで、引き続きよろしいか。

三浦委員長

発言への対応で、議員が発言内容を確認するために質問することがある。いただいた意見の取り扱いは全員協議会で協議し、対応結果を報告するという。いただいた発言内容については、今後議会としてどう取り扱うかは全員協議会で協議していく。

イベント当日の議場では、議員が要旨確認のための質問をする場合があるということで。そこで議員個々の意見を述べていくと議論の場になってしまい時間が不足したりするので、それは避けて、あくまで発言要旨の確認にとどめる。それは全員協議会で改めて共有する理解でいる。皆もそういった理解でよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではこの件については以上とする。

(2) その他

三浦委員長

市民一日議会についてその他。

小寺書記

チラシ内容を確認いただいたので、来週頭くらいから順次配付なりをしていきたい。また議員に、商業施設等お願いしやすいところに配付をしていただくが、8月17日の全員協議会あたりでどうかと思っているがよろしいか。もう少し早いほうがよければ、また考えるが。それか8月2日の議員研修会のときか。

三浦委員長

印刷が間に合えば、昨年度は議員それぞれにポスターとチラシの部数を決めてレターボックスに入れ、配付をお願いする形で働きかけたので。ただ、そういったお願いを改めて皆にする必要もあるかと思う。入れっ放しは失礼かと思うので、全員協議会で説明し、チラシ等の配付依頼をするのが丁寧かと思うがどうか。学校への配付はどのタイミングになるか。

小寺書記

夏休みに入るのでなるべく早くとは思。議員には8月17日。それ以外の施設に送るのは随時決裁を取ってできると思うので、7月中くらいにはやりたい。

三浦委員長

始業式はいつだったか。8月25日か。ではその8月25日に間に合

うように。小中学生向けのチラシは表現を学生用に仕立てたものを配付したので、これをベースにつくって終業式あたりにできるだけ早く間に合うように、こちらで文案を作成し、しかるべきタイミングで皆に確認していただくといったスケジュールで進めたい。施設への配付等は、市民一日議会を開催することは皆にも了解いただいているし、これは決まったことなので、チラシ配付はもうしていただいて大丈夫か。ではそれは随時やっていく。8月17日の全員協議会で議員に改めて説明し、広報協力を求める。学生向けは正副委員長で案文をつくり、始業式かそう遠くない時期に配付できるような形で。それまでに内容について皆にお諮りする。そういうスケジュールで進めてよいか。

(「異議なし」という声あり)

では皆にスケジュールはご了解いただいたということで、そのように進める。

3 議会報告会について

(1) 各委員の意見確認

三浦委員長

現在コロナ禍のため、いわゆる今までやっていた議会報告会の形を避けている中、これまでやっていたスタイルでの議会報告会の実施について再度検討が必要ではないかと大谷委員から提案があった。今後の広聴機能をどのような形で担保していくか、今行っている市民一日議会や地域協議会との意見交換会などの活動と、どのようにバランスを取るか。トータル的にどういう活動をしていくかの整理も含めて、皆から意見を伺う場にしたい。各委員から順次意見を伺っていききたい。大谷委員、改めてご意見があるか。

大谷委員

特段改めてはないが、当然そういう場面も未経験であるし。決まっていることであれば、こういう状況とは言いながら、開催できるかを見極めながら実施したほうがよい。

沖田委員

確かにコロナ禍になって地域協議会との意見交換会にかわり、それ以前の地域井戸端会、議会報告会はどうだったかというのは、その振り返りを常にこの委員会でやってきたテーマであるが、これといった結論が出ない問題だと思う。その上で、地域協議会や各団体との意見交換の形は、これはこれですごくよいと思っている。というのも、かつての議会報告会は広く市民の意見をお伺い

する形で開催してはいたが、現実には偏りが否めないとずっと思っていた。逆に、各委員会で例えば漁業者、農業従事者などに特化した聞き取りも、十分広聴機能の一環だと思う。無理にかつての議会報告会に縛られず、ある程度柔軟性を持った広聴を今後も続けていければと思っている。

川神委員

今までの議会報告会、地域井戸端会もそれなりに効果があったと思うが、特に議会報告会に関してはそれほど有意性を感じたことがないが、地域井戸端会はいかに市民との距離を近づけるか、言いたいことを言える雰囲気になるか、そういった場合は当然続けていかななくてはいけない。ただ、コロナの爆発的なぶり返しがあるので、今後どのような社会情勢になるかわからないが、いつ緩和されてもよいようにプランを一つ持つておく必要がある。

今は地域協議会といろいろやっているが、時間が短い、十分な意見が発言できなかったという意見がある。やはりある程度テーマの絞り込みは重要ではないかと。全国事例を見てみると、同じように、来る人が固定化している・人が来ない・関心がない・いろいろな条件を変えても来ないということがあるが、例えば産廃問題や、自分たちの地域で非常に関心が高い問題だと何も言わずとも山ほど人が集まる。つまり住民の関心事項がエリアごとにあって、それに関する問題提起をしながらテーマを決め、意見をしっかりと聴く。そういうやり方の対面方式がすごく大事である。コロナが落ち着いてできる状況になれば、いつでもスタートできるような準備は必要だろう。

何らかの形で、地域協議会やエリアごと、ジャンルごとの意見を吸い上げる方法と同様に、不特定多数のものを拾い上げる仕組みとしてどのようなものがあるのかも考えているのだが、大谷委員の提案はとても重要なので、我々も今からやっていかなければいけない。今そのタイミングにあるかどうかだけだと思う。

村木委員

今まではまちづくりセンターの担当職員としていろいろとかかわっていた。参加人数が固定化しているとは聞いていた。先般、旭地域協議会で初めて司会をし、体験した。あのようテーマを絞って皆と意見交換するのは大切だと改めて思った。それを考えても議会報告会、何らかの機会は必要かと思っている。例えば委員会での動きや、そういった形でテーマを絞った意見交換はとて

川上委員

も有意義なので、何らかの形で議会報告会を実現すべきである。

確かにこれまで議会報告会をやってきた。よかった部分と悪かった部分、両方だと思う。意見を聴き、それに対して物を申し述べるのはよいことだが、先ほど村木委員が言われたように、人も偏るし、地域協議会の方々にお願いして集めてもらうようなことになってくると、難しい部分がある。テーマを絞って何回でも開いてみるのが非常によいと思うので、やるのであれば回数をもっと増やし、小さな集落までとは言わないが、やったほうがよい。

肥後委員

今度三隅の地域協議会の方と意見交換するのだが、それまでも私が個人的に事務所で話をさせてもらったりしたときに、個人だと対応できないが、委員会や議員で、各委員会の専門性で意見を返せたり、また来てもらった方にも丁寧に話ができれば、より実効性が高まるのかと思った。

議会報告会として、議会側から地域へ出向くというのは、どうしてもよい部分・悪い部分があるだろうが、よくしていくためにしかるべきときにやっていくのが重要と思う。

小川委員

議会報告会は、今はたまたまコロナ禍で控えているが、やめたわけではないし、成果と課題はある中で参加者の固定化が問題になっている。全国でも議会報告会をオンラインでやるといった取り組みをされているところもあるが、そうすることによって今まで参加しなかった層が参加される場合もあるようである。そういった点も検討して、この形で取り組むとなれば、今までと違った層の方に参加していただける環境が整うのでは。基本条例に書いてあるというのものもあるが、まずい点は多々あると思う。今までの取り組みを振り返る中で課題も整理しながら研究する必要がある。

上野委員

前日も申したように、旭の自治会総会に出たときにまず言われたのが、議会報告会や地域井戸端会はしないのかと。旭は毎年40人くらい参加してもらっていて、そこで物を言う人が結構おられた。かわりに読者アンケートがあるし、地域協議会に意見を吸い上げてもらい、それをもとに意見交換会をするのだと何度も言ったのだが、アンケート用紙はなかなか入っていない状況である。住民意見をもっと簡単に吸い上げる方法を何か考えてもらいたいということで、話をしかけている。住民も諦めムードで、コロナだから仕方ない、議会報告会や地域井戸端会はないのだろうという

村武副委員長

雰囲気になっているので、そういうことはまたやっていきたいのだということを感じてほしくて話している。

今はコロナ禍で中断しているが、議会報告会は必要だと思う。先ほど上野委員が言われたように、私も何度か旭の議会報告会や地域井戸端会に伺ったときに、本当にたくさんの方が来ておられて、時間内に皆の意見をお聴きできなかったこともあるが、旭の方はこういう会を本当に求めておられるのだと肌で感じた。とはいえ、片や参加者が少ない会場もあったので、どのようにすればよいかは非常に難しい問題なのでは。

先ほどから皆が言っている、住民の関心事項をテーマに設けるといった、参加していただけるようなことを我々が研究しながら考えて、進めていけばよいのかと思う。ただ、コロナが本当に広がっている。今年度は今から計画を立てるのは難しいかと思うので、今年度中にどのようにすればよいか我々が研究し、来年度からの開催に向けて皆で議論するのもよいと思う。

小川委員からオンラインという案が出た。私もかねてからオンライン議会報告会をしてみたいと申し上げていた。オンラインで参加される方と、リアルの会場で参加される方は違うと思うので、両方あってもよいかと思う。

三浦委員長

さまざまな角度から意見があったように思う。今はコロナ禍でかつてやっていた地域井戸端会や議会報告会という形ではない広聴機能や広報活動をしようということで今に至っているが、かつてのような方法を求めておられる市民もおられるのではないかと、という意見がまず一つあったかと思う。そのやり方についてはもちろんオフラインでやるのもそうだが、オンラインという方法を検討してはどうかと。それによって新しい参加者も期待できるのではないかというご意見もあったかと思う。

あとは地域協議会との意見交換会をこの間に始めたが、時間が少し短いといったご意見をいただいているのも事実で、複数回の開催などを検討するのはどうかという意見もあったかと思う。

これまでの地域井戸端会の参加者の顔ぶれ固定化や、人数が伸び悩む、まだ参加しにくい雰囲気があるなど、さまざまな課題もあると思うので、今日出していただいた意見を整理して、個別に改善方法を議論していくほうがよいかと。この場でまとめ切らな

いというか、議論がかなり広がりそうなので、そこあたりは一旦我々で整理させていただきたい。

議会報告会の目的はそもそも何なのか、というところもあって。議会の今の状況を報告する。春にやっていたときは冒頭にパワーポイントを使って、当初予算の説明とともに若干の時間を設けてまず説明し、その後にフリーディスカッションするというスタイルだったかと思う。議会の今をどのように伝えていくか。場を通じてだけでなく報告をどのようにしていくか、広報のほうも検討していかないといけない。

この議論についてはしっかり時間を取って、引き続き進めていく必要があると思う。また皆でも今日それぞれ出された意見等も踏まえて頭の整理をしていただきながら、次回の委員会でまた議題に上げたい。よりよい広報広聴活動になるよう、引き続き意見を伺う。そのような形で、次回また時間を取ってよいか。

(「異議なし」という声あり)

ではこの件については以上にとどめる。

4 その他

(1) 勉強会テーマの募集

三浦委員長

勉強会のテーマについて皆にお諮りしたい。前々回、TwitterやYouTubeによる議会からの情報発信について、やり方をこちらからご提案したところ、さまざまな意見があったかと思う。その際、情報発信ツールやどのような方法がよいかに限らず、当委員会で何かテーマを掲げて勉強してみようではないかということがあれば、ぜひご提案をという投げかけをしていた。皆に改めて、SNSを使った情報発信以外の件でも結構なので、当委員会で検討すべき事項等があれば、改めて伺いたい。

SNSの活用等に限らず、どういった広報広聴活動が望ましいかとか、どのようにしたら改善されるのかとか、そういったことは随時この場で議論していくのが望ましいと思う。今日に限らず随時考えていただきながら、何かあれば提案をいただきたい。宿題というか、常に考えていただきたいということを改めてお願いしておきたい。

先ほどの議会報告会の今後とか、考えていかなければいけない

議題も多くあるので、並行して取り組みたい。何かあればぜひご提案いただきたい。

小寺書記

その他、皆から何かあるか。

皆からなければ次の委員会日程も含めて3点ほど、ご確認いただきたい事項がある。

1点目が、はまだ議会だよりminiの8月1日発行分について。前のメールで皆にお話ししたとおりだが、協議する場がなかったのでメールで確認した。産業建設委員会の視察を載せることにしていたが、延期になってしまったので別記事を載せる必要がある。正副委員長と協議して、当委員会で6月に浜田高校に行った件をまだ載せてなかったので、そのことを書いてはどうかということと、7月11日に協働のまちづくり推進特別委員会でまちづくりコーディネーターと意見交換会をされているので、それを載せてはどうかということである。記事担当は浜田高校については川上委員に、協働のまちづくりについては村木委員にお願いできればと思っているが、よろしいか。

大谷委員

記事の字数がどの程度かにもよると思うが、浜田高校のこの前の取り組みに関して、高等学校の学習要領というか、やり方も変わってきているので、そのあたりにも触れていただきながら、その中でこういう活動があって、議会からも参加したというように。説明を1行くらい入れていただくと流れが伝わりやすいと思う。意識していただくとありがたい。

小寺書記

字数は約300文字くらいかと思っているが、また両委員にはこの後メールで依頼しようと思っている。入れたほうがよい内容については大谷委員からまたいただけるということで。

2点目。執行部から情報提供があった。日本郵便株式会社と包括連携協定を締結するようで、7月27日に実施される。市内郵便局で市政情報を発信したり、ポスターやチラシを置いたりできるというものである。議会からお願いしてみたいのが、はまだ議会だよりminiは今、毎月まちづくりセンターにポスターで出しているのだが、これを併せて市内郵便局にも掲示できたらよいと思った。また、市民一日議会のチラシも印刷ができればこれも。去年はやってなかったが、こういった協定を結ばれるので、それもやってみてはどうかと提案するものであるが、いかがだろうか。

(「異議なし」という声あり)

では進めさせていただきたい。最後に次回委員会日程。6月30日の議会運営委員会で決まった9月定例会議の日程の中で、8月25日に議会広報広聴委員会を行う予定が入っていたかと思う。午前中に議会運営委員会があって、午後1時半から議会広報広聴委員会を予定しているので、それを次回とさせていただければ。市民一日議会の関係で何かあれば、またお願いするようなことがあるかもしれないが、一応次回は8月25日とご理解いただければ。またその際、県立大学との共同研究の関係で光延先生に冒頭来ていただき、これからの進め方をご説明いただき、委員からご意見をいただいて進めていければと思っている。また、はまだ議会だよりV o 1 . 67のことも取り上げたい。よろしく願います。

三浦委員長

3点目の次回の日程だが、8月25日木曜日、1時半から。お間違いないように願います。ほかにないか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上で議会広報広聴委員会を終わりたい。

[10時 28分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀